

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



まつさか市議会だより

vol.84
2021.3.1

みてんか

マジメで面白くない報告ですが...

一般質問 6

松阪市議会の議会改革
(議会のICT化)..... 16

政策討論会 17

オンラインによる
行政視察 18





議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。

check!! →

○は全会一致、●は賛成多数

11月定例会の議決結果

議案番号	件名	審議結果
138	一般会計補正予算（第8号）	●
139	競輪事業特別会計補正予算（第2号）	○
140	国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○
141	介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	●
142	後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○
143	簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	○
144	農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○
145	水道事業会計補正予算（第2号）	●
146	公共下水道事業会計補正予算（第1号）	●
147	松阪市民病院事業会計補正予算（第3号）	●
157	一般会計補正予算（第9号）	○
160	一般会計補正予算（第10号）	○
148	地域づくり組織条例の制定	○

議案番号	件名	審議結果
149	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	●
150	職員の給与に関する条例の一部改正	●
151	子ども発達総合支援センター条例の一部改正	○
152	公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正	○
161	公平委員会委員の選任	○
162	教育委員会委員の任命	○
153	総合計画基本構想	○
154	財産の取得（総合運動公園用地）	○
155	財産の取得（総合運動公園用地）	○
156	公の施設に係る指定管理者の指定（松阪図書館及び嬉野図書館）	○
158	公の施設に係る指定管理者の指定（森林公園）	○
159	財産の取得（備蓄倉庫）	○

表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号	真政クラブ					松政会					公明党		日本共産党		市民クラブ		無所属の会・みらい		しなと会		会派に所属しない議員							
	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	山本芳敬	大平勇	中村誠	松本一孝	谷口聖	市野幸男	米倉芳周	松岡恒雄	山本節	西村友志	殿村峰代	栗谷建一郎	久松倫生	橋本大介	楠谷さゆり	中島清晴	田中正浩	西口真理	海住恒幸	赤塚かおり	深田龍	植松泰之	沖和哉	中村良子	濱口高志
138	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
141	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
145	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
146	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
149	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 西村友志は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。



令和2年度松阪市一般会計補正予算（第8号）など25議案を可決・同意

議会がチェック!



令和2年11月定例会は、11月27日から12月18日までの22日間の会期で開かれました。一般質問は12月4日、8日、10日の3日間、16人の議員により行われ、最終日には議案3件が追加上程され、議案25件が討論・採決され、原案どおり可決・同意しました。

討論のあった議案

議案第138号 令和2年度松阪市一般会計補正予算（第8号）

反対討論

コロナに負けるな!キャッシュレス還元事業について、高齢者が自助で超えなければならないハードルが極めて高い。入金できる機械は1店舗に1台だけ。チャージなどで狭い店舗の中での混雑と混乱も予想され、新型コロナウイルス感染防止に懸念が生じる。事実、PayPay社から松阪市と同じように打診を受けながら、二の足を踏んだ県内自治体も多い。



議案第141,145,146,147,149,150号 人事院勧告に基づく手当削減の議案6件

反対討論

人事院勧告に基づく期末勤勉手当の削減について、コロナ禍で医療現場をはじめ多くの困難な状況の中で奮闘する公務員労働者の手当のカットは反対する。



総務企画委員会

●公共施設マネジメント推進事業

補正予算額 2,520,000円

Q 予約システム導入検討施設の対象になっていない施設があるが、すべて導入することはできないのか。

A 地区公民館のような地域の住民が無料で利用することが多い施設や一部の指定管理施設などは、現段階では導入検討施設の対象になっていない。指定管理施設によっては、別システムで運用されている施設もあるため、今後、利用状況等を鑑み、予約管理システムを導入すべきかどうか所管課と協議していきたい。



▲松阪市体育施設予約システムのトップページ

環境福祉委員会

●個人番号カード交付事業

補正予算額 4,131,000円

Q マイナンバーカード交付予約等業務委託の概要は。

A コールセンターを開設し、交付予約の受付とマイナンバーカードに関する問い合わせに対応する。

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

補正予算額 50,127,000円

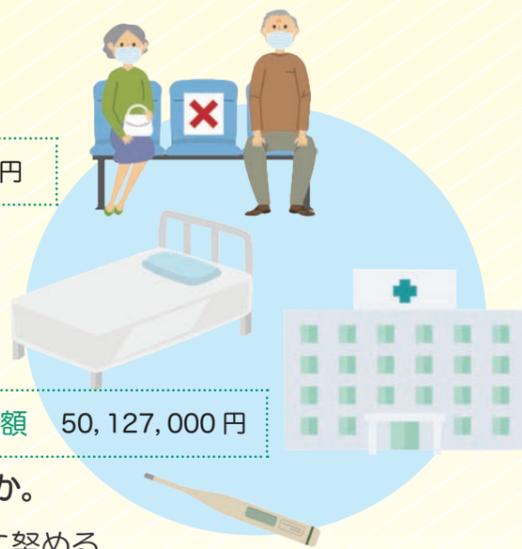
Q イギリスで重篤な副反応が出ていると聞くが接種は任意か。

A ワクチンの接種は勧奨を行うが、正しい情報の周知啓発に努める。

●松阪市松阪市民病院事業会計

Q 医業外収益の国県補助金の内容及び補助金の交付がない場合、赤字が想定されるが経営状況は。

A 病床確保として、新型コロナウイルス感染症対策事業補助金3億5,186万1千円が交付される。昨年度より外来診療収益はマイナス1億3,000万円、入院診療収益はマイナス2億円と、減っている。



文教経済委員会

●コロナに負けるな！キャッシュレス還元事業

Q スマートフォンを使用していない市民は、この事業の恩恵を受けることができず、公平性に欠けるのではないか。

A 事業の目的はキャッシュレス決済の普及である。支払い時の接触を避けることができ、新型コロナウイルス感染症拡大のリスクの低減にもつながると考える。



▲2月に実施したキャッシュレス決済ポイント還元事業

補正予算額 196,374,000円

【議員間討議】

問題提起 「結果的に行政が1社だけを応援していることにならないのか。スマートフォンを利用していない方や、高齢者などに対するの公平性の観点から、この事業について疑念が残らないか」

意見 「貨幣を媒体として新型コロナウイルスに感染するリスクの低減に努めてくれる人を増やすための事業としては適正と考える」

意見 「ある程度の経済効果が見込まれるので、事業には賛同する」

意見 「この事業の目的効果は複数あるが、新型コロナウイルスの感染症対策で、接触を避けることが第一義と考え、課題はあるが、行政が議論を重ねた上での事業であるならば尊重したい」

建設水道委員会

●総合運動公園建設事業

補正予算額 402,000円

Q 用地取得額が増えた理由、価格の算出方法は。

A 当初予算では、松阪市土地開発公社が当時買収した価格や昨年度の鑑定評価額を参考に計上していたが、今回の買収地はふるさと農道と接しているため単価が上昇し増額となった。土地の価格については、令和2年7月に不動産鑑定士が鑑定したものである。



ここが聞きたい!

一般質問



※コロナ対策として、質問席、答弁席にアクリル板を設置しています。

12月4日、8日、10日に16人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

質問時間は、1人50分。（答弁時間を含む）

◎総括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

一般質問スケジュール

と き	登壇者（質問順）		
12月4日（金）	①西口 真理 ④海住 恒幸	②松岡 恒雄 ⑤堀端 脩	③殿村 峰代 ⑥久松 倫生
12月8日（火）	①野呂 一男 ④市野 幸男	②濱口 高志 ⑤山本 節	③中村 誠 ⑥栗谷建一郎
12月10日（木）	①沖 和哉 ④田中 正浩	②橋 大介	③深田 龍

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

※QRコードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。
（別途通信料が発生する場合があります）



無所属の会・みらい
にしぐち まり 議員
西口 真理 議員

公明党
まつおか つねお 議員
松岡 恒雄 議員

移転後の松阪公民館の現状と課題を問う

問 すったもんだの末に移転され、もうすぐ3年。当初、言われていた目的が達成されているのか現状での評価は。

答 利用者の状況は増加傾向にあるが、まだそれ程、若い層までは広がっていない。

問 中央公民館としての役割強化は。

答 令和元年度から公民館館長、主事を対象とした研修会を開催している。しっかりとリーダーシップを発揮していきたい。

問 心配していたように、交通手段がない、大変だと辞めてしまった方が一定数いることは認識してほしい。

答 高齢者については、公共交通機関であるとか、利便性の向上に努めていきたい。

障がい者自立支援～相談支援専門員の処遇改善と支援策を

問 相談支援専門員は報酬が低く、離職率も高い。相談したくても受けられない、待たされるなどの利用者の声も聞く。松阪市において人数は充足しているのか。

答 決して充足しているとは言い難い。今後専門員の育成に向けた取り組みを進めていきたい。

問 相談支援専門員の処遇改善の必要性について、どのように考えるのか。市としてできることはないか。

答 福祉分野における雇用の課題は国全体の課題である。専門員の方に何らかの形で支援をしていかなければと考えている。

住まいと暮らしの安心を確保する居住支援

問 コロナ禍、全国的に生活困窮者自立支援制度における住居確保給付金の利用が増えている。申請件数、支給決定件数は前年と比べ、どの程度増えているか。

答 11月末現在、申請が172件、給付決定が153件、昨年度に比べ申請件数は164件、給付決定件数は145件の増。新規相談について5月、6月は月当たり120件の相談。11月末現在で511件となっている。

問 最大9カ月まで支給の住居確保給付金の期間終了後に引き続き支援が必要な方が住まいを失わないようニーズや状況に応じたきめ細かな支援が必要と考えるが。

答 状況に応じて市内の連携を図り、必要な場所につなぎ社会福祉協議会と連携し支援を行い、相談対応に当たってきたい。

問 コロナを機に住宅セーフティーネット制度の家賃低廉化制度による支援に取り組むべきと考えるが。

答 セーフティーネット住宅に関する情報収集に努めてまいりたい。



問 来年4月から始まる、いわゆる断らない相談支援を具体化するための重層的支援体制整備事業を速やかに取り組むべきと考えるが。

答 現在、複雑な課題を抱えた世帯の問題等に包括的に支えていく支援体制と相談支援包括化推進員の配置に向けて関係機関などと協議を進めている。



市民病院の「提言」は感染症拡大を想定していなかった

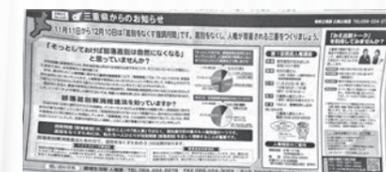
問 11月2日の中日新聞で市民病院の在り方検討委員会の伊佐地秀司委員長は、在り方の提言について、「感染症対策は国も県も検討委員会も想定していなかった」と率直に振り返るとあるが見解は。

感染症病床は全く考えずに機能転換の提言をなされたと確認してよいか。

答 提言の段階において、このような状態の感染症は想定していなかった。

人権施策基本方針の策定、改定にさまざまに検討していく

問 今どきこんなことをしてほしくないというのが県が出した新聞広告。部落差別一辺倒の時代遅れでひどい内容。松阪の取り組みと到達は全く違ったものがある。



◀11月11日付の県が出した時代遅れの新聞広告。600万を超える公費が使われているという。

松阪の人権施策は2014年の人権施策基本方針第2次改定版が基本。この年は松同推の崩壊、人権施策・人権教育の大きな転換であった。現状のなかでの人権施策へ踏み出す時期ではないか。

答 これからの策定、また改定に向けて、さまざまに検討をしていきたい。

意見 ぜひ検討していただきたい。

その他の質問 ・核兵器禁止条約の発効についての認識

用語解説 松同推…松阪地区同和教育推進協議会



松阪材の需要創出で地域経済を活性化

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した「松阪の木利用促進緊急対策事業」の進捗状況は。

答 新型コロナウイルス感染症対策として「松阪の木利用促進緊急対策補助金」により地域材の流通量を増やそうと、事業目標の50棟を10月初旬から受付し、現在24棟が着工の運びとなっている。

意見 引き続き、業界と協働でPRを行い、多くの方の活用を進められたい。

特定空き家の所有者と困っている地域とのマッチングを

問 空き家や空き地を地域で活用したいとの声を聞くが、所有者と連絡が取れず困っている状況があるが、対策はないか。

答 空き家やその跡地の活用については、自治会や住民協議会などが、地域の交流施設として利用したいとの希望がある場合は有効活用への相談を行いたい。

意見 横断的な取り組みにより、早急に持ち主の所在を確認することを期待する。

コロナウイルス対応臨時交付金による防災備蓄倉庫の管理は

問 指定避難所等へ防災倉庫が設置される事に大変ありがたく思う。管理運営についてしっかりと指導されるのか。

答 拠点避難所の小・中学校などにおいて活用いただけるよう協議したい。



鈴の森公園への収蔵庫建設は市民に喪失感。計画撤回を

問 かなりの市民が鈴の森公園に収蔵庫を造るのは間違っていると思っている。あの場所に建てれば市民に大変大きな喪失感をもたらす。市民の幸せを考えれば、今からでも勇気をもって計画を白紙撤回していただきたい。「鈴の森を壊さないでほしい」、「つぶさないでほしい」という声を受け止め、計画を撤回していただきたいと考えるがいかがか。

答 すべての事業に対して直接、市民から意見をいただくことは考えていない。収蔵庫は直接、市民への影響が大きいものではないので、行政内部で意思形成をし、市民の代表である議会に諮り、進めていく。この計画について立ち止まるとか、中止するという考えはない。

問 大事な決定をする前に、なぜ、市民に「皆さんの意見をください」という感覚を持てなかったのか。それが最大の誤りだ。驚くのは、収蔵の話が全然なかった平成28年10月の段階で4億何千万円で収蔵庫を建てるという予算の見込みが出ていることだ。長谷川家の資料は長谷川邸で収蔵できる可能性を議論しなかった証拠だ。まだその段階では文書資料のほうに議論は至っていなかった。それをせず、収蔵庫を建てる方向にいったと捉える。

答 4億円はたたき台である。内部での協議はしっかりしている。



来年度からの第8期介護保険事業計画をより良いものに

問 現第7期の基本理念「高齢者がいつまでも安心して地域で暮らし続けることができるまち」は継続されるか。施策の中、達成しにくい事業と改善できる方向性は。

答 基本理念は踏襲する。生活支援の施策は「生活支援にかかる地域互助の促進が図れる」の目標達成が難しいため、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターが中心となり、アンケートで地域の特性を把握、高齢者の思いや支援者の意向を整理し、活動内容や開始タイミングを協議していく。

問 介護保険料の改定は次回もあるか。

答 高齢者保健福祉計画策定委員会で決定する。

問 基本的施策の本人、家族の経済的支援は非常に意義を持つと思うが、紙オムツ給付など市の負担が増えると、国からのペナルティーがあるか。

答 厚労省の通知から、令和3年4月1日から令和6年3月31日までの要件があり、それに沿っていく。

問 新型コロナウイルスについて事業所への市の公費助成の考えは。

答 国の対策が図られていることから、市としての公費助成は予定していない。

意見 消費税は社会保障に使うことで上がった。自助が困難になった高齢者を地域共助に押し付けず、公助でしっかり補助し、新型コロナの課題も十分考慮した第8期介護保険計画になることを望む。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

問 学校運営協議会の予算は特色ある学校づくりの予算の中から使用できるか。

答 役割を認識して進めていく中で、必要なものは活用していただきたい。

問 中学校区単位の学校運営協議会設置の場合のメリットとデメリットは。

答 メリットは小中学校が一体となり、9年間継続的に子どもたちの成長を支えられる。反面、1つの小学校から2つの中学校へ分かれる場合、一体的活動が難しい。

問 地域学校協働活動推進員の配置は。

答 役割が重複している推進員と地域組織のコーディネーター役の配置を含めて、市の課題として研究が必要と認識している。

防災対策の現状～MHトイレ 防災行政無線・広域避難

問 マンホールトイレの設置状況、下水道整備が整っていない防災拠点の割合は。

答 設置計画防災拠点等は60施設中、37施設に設置済み、下水道整備が整っていない区域の未設置は11施設となる。

問 防災行政無線テレホンサービスの周知用ステッカーや名刺サイズのものを全戸配布はできないか。

答 使用率が懸念されるため、効果的な方法を検討していく。

問 広域避難のシステム構築の考えは。

答 地域防災計画策定支援の中で地域間避難が必要な地域は情報提供の支援を行う。



空き家対策～危険空き家～

問 行政でできる除去に向けての方法として、行政代執行、略式代執行があるが、これに向けてどのように考えているか。

答 所有者が不明な特定空き家の除却は、略式代執行のほかに、民法による財産管理人制度がある。この制度により、家庭裁判所が選任した財産管理人が家庭裁判所の許可を得て、空き家の解体除却や解体後の空き地の売却などができることから、略式代執行または財産管理人制度による処分を比較検討し、効果的かつ効率的な方法を選択する必要があると考える。

問 危険性・緊急性が高い空き家3件の特定空き家の候補を、認定までのスケジュールは。

答 11月には空家等対策協議会を開催している。この3件に関して、同協議会にて特定空き家への判断および措置に関する意見を伺ったが、案件によっては再調査の必要



その他の質問 ・横断歩道の引き直しなど

用語解説 行政代執行…行政上の義務を義務者が履行しない場合、行政庁は、義務者の行為を代わりにを行い、その費用を義務者から徴収することができる。



学校給食を無償化し、胸を張って子育て一番宣言を！

問 子育て支援は充実してきた。次は学校給食無償化だと思う。現在、保護者が給食費として払っている額は。

答 小学校が3億5,100万円、中学校が1億5,700万円。

問 給食無償化を実施している自治体は少なく、おおむね1万人未満。しかし人口30万人の明石市が、中学校の給食無償化を本年から実施した。国の幼児教育・保育無償化によって浮いた7億5,000万円を活用した。当市では、どれくらい浮いたのか。

答 約1億600万円。

意見 中学校の給食無償化はそんなにハードルが高くない。



大学誘致とは短大の4年制化なのか？

問 前回、長野県では県立大学をつくって、若者の流出に歯止めがかかったと答弁があった。しかし、長野県立大学は県立の短大を4年制大学化しただけ。それなら、当市が労力をかけずに、三重短期大学の四大化を検討するほうが早いのでは。

答 南三重と言われるところは、人口流出が非常に激しい。そういったところで県立大学をつくっていただくことに大きな意義がある。

意見 松阪工業の高専化というのも1つ選択肢として検討してはどうか。



児童生徒に対するコロナウイルス感染防止対策への指導は

問 児童生徒に対し、新型コロナウイルス感染防止対策をどのように指導されてきたのか。

答 発達段階に応じたコロナウイルス感染症に対する正しい知識と、感染拡大を防止するための指導を行ってきており、取り組みがいずれの学校でも適切に行われるよう、市立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインや、学校における新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを市独自で作成し、各学校に配布し、指導の徹底を行っている。

食品関係の企業誘致対策は

問 市民16万3,000人が食糧危機に遭うことのないよう、食料関係会社と契約、さらには食料などを支援していただける企業の誘致を進め体制を整えるべきではないか。

答 食品については生活に欠かせないものであり、今の異常気象による生産の減少、コロナウイルスによる食料品輸入の一時停滞、地震発生の懸念など、安定的な確保へのリスクは高まっている。食品関連産業については、当市をはじめ南三重地域の農林水産物との関係が深く、さらに市内の集積が期待できることから、今後も引き続き新規の立地や市内企業の再投資の促進に向けて注力していきたい。

市民クラブ
 たちばな だいすけ
 橘 大介 議員



新型コロナウイルスによる
交通崩壊を防げ

問 地域交通システムの事業費の収入と支出のバランスが崩れてしまった場合に、安定的な公共交通は維持できるのか。

答 令和2年1月から9月までのコミュニティ交通の利用状況は前年比約30%減少。最も影響を受けた5月は45%減である。

問 現状の路線は継続して運行はできるか。
答 コロナ禍の影響による利用者減によって直ちに路線の見直しや廃止ということは考えていない。

問 民間企業のように工夫を凝らしていく必要があるのでは。

答 令和3年度は、コミュニティ交通があまり利用されていない地域の交通をどうふうに行うか検討していく。さまざまな地域との協議もしながら交通網についてさらに研究していきたい。



コロナ禍での多文化共生の考え

問 景気の悪化で外国人労働者の解雇が増えた。言葉の壁を取り除き、ITを駆使した日本人の職員でも対応できるような窓口の設置を。

答 他市の状況なども参考にしながら、調査研究を進めていきたい。

会派に所属
しない議員
おき かず や
沖 和哉 議員



煙から子どもたちを守るために！
～たばこ税の活用と分煙環境～

問 市たばこ税は約11億円の税収である。屋外分煙施設などの整備に、たばこ税の活用を積極的に検討するよう、総務省が要請しているが、市はどう対応しているか。

答 さまざまな部署で対応を図り、慎重に受け止めながら、環境整備に努めていきたい。

子どもの命を守るために！
チームで虐待防止・家族支援を

問 この1年、全国的に虐待案件の増加が問題視されている。市の現状は。

答 件数はやや減少しているが、心理的虐待の割合が身体的虐待を上回っている。

問 常日頃の支援や関わりが市の責務。虐待防止には周産期の支援が重要だが、組織としてのあり方はどうか。

答 健康づくり課、子ども支援課などの4部署での多職種連携に努めている。

意見 市全体で子ども達を支えてほしい。

盗撮から子どもを守るために！
白い体操服、見直しませんか？

問 体操服はどのような指定をしているか。
答 色はほとんどが白で、学校ごとに統一し、多様な体形やアレルギー体質などにも対応できる素材を選定している。

問 女性アスリートの盗撮が問題視されており、子どもたちの被害も懸念するがどうか。

答 色などのガイドラインについては現場で対応し、教育委員会も支援していきたい。

日本共産党
くりたに けんいちろう
栗谷 建一郎 議員



小中学校の少人数学級の実現

問 子どもたちに行き届いた教育を行うため、コロナ感染を防止するため、少人数学級の実現が必要ではないか。

答 少人数学級は学習面や生活面で、きめ細かな指導ができ、感染症対策の観点からも求められている。しかし、当市において30人以上の学級と比べて著しい学力差は以前より少なくなってきた。

問 教師の負担増大の解決にも少人数学級の実現が必要になっていると思うが。

答 国の明確な基準は示されていない。学校規模適正化等に関する検討委員会に諮問しているところである。

問 全国知事会・市町村会も少人数学級の実現を国に要望している。市の立場は。

答 40人という規模を変えていただきたい。単に少人数学級の実現ではなくエビデンスをとりながら国・県に要望したい。

超高齢化社会にドア・トゥ・ドア
のデマンド交通を

問 超高齢化社会におけるデマンド型交通についての考え、必要な体制はどうか。

答 デマンド型交通は有効な手段の一つである。民間のタクシーが利用できない地域で取り組みを進め、その上で、全市的な視点に立って検討していきたい。全庁的な対応で市の中の横断的、さまざまな連携をしながら体制を構築していく。

その他の質問 学校のエアコン設定温度

公明党
やまもと たかし
山本 節 議員



デジタル化で
オンライン申請の推進を！

問 菅内閣の目玉政策の1つが、言うまでもなく行政のデジタル化を推し進めるデジタル庁の創設。今の段階で可能なところからデジタル化を図っていくべきではないか。

答 適切に対応していきたいと考えている。

意見 押印の廃止と電子化とが比例的な関係性もあり、市民の利便性を図る意味でも今後可能な限り進めていただきたい。

行政手続における押印の廃止を！

問 押印廃止と書面主義の見直し、可能なところから進めていくべきと考えるが。

答 国の制度や法令などに基づいている手続と関連する場合は各省庁からのガイドライン等を参考に、市独自の判断で適切に見直しができるものについては、できるだけ迅速に対応していくべきであると考えている。

問 三重県庁スマート改革検討チームの提言書。これから県民のためにと、令和2年1月に発行された提言だが、ぜひ市の全職員が一通り目を通していただけるとありがたいと思う。

答 参考になる情報があるので、おっしゃるよう十分に参考にしていきたいと考えている。



その他の質問

- 給食費徴収等にかかる労務実態
- 学校給食費の公会計化等の推進

5/7 (金)
午後1時～
配信予定

5月に YouTubeにて 動画配信!

言うてんか!

聞いてんか!

オンライン 議会 報告会



令和3年4月に開催を予定していた議会報告会は、新型コロナウイルス感染症の現状を踏まえ、安全確保と感染症拡大防止の観点から変更し、動画配信により行うことになりました。

これまでのような対面方式による報告会ではないため、直接皆さんからのご意見をいただく大切な機会がなくなりますが、市ホームページ上でアンケートフォームを掲載予定です。メール・FAX等でのご意見もお待ちしております。

※別途通信料が発生する場合があります。

動画の主な内容 (予定)

- 議長あいさつ
- 議会報告
2月定例会の報告
- 今後の予定
- 副議長あいさつ



所管する広報広聴委員会では、オンライン議会報告会を行った兵庫県丹波篠山市議会様とオンラインによる行政視察を実施しました。(詳しくはP19参照)

松阪市議会 YouTubeチャンネル



松阪市議会のYouTubeチャンネルでは本会議の中継もご覧いただけます。ぜひ、チャンネル登録してください。



しなと会
ふかた りゅう
深田 龍 議員



無所属の会・
みらい
たなか まさひろ
田中 正浩 議員



来年度から飯南産業文化センター はどうなるのか?!

問 来年度、文化課から飯南振興局に所管が変わる。どんな施設にしていくのか。

答 飯南・飯高地域で唯一ホールのある施設。地域の方々が心豊かに暮らしていくためには、文化・芸術の分野も非常に重要な要素である。飯南振興局、公民館、また地域が連携をして、ここを拠点に文化・芸術に触れて、交流を育んでいく施設としてしっかり活用していきたい。また、まつさか移住交流センターも開設しているので、今後も中山間地域の振興を図るための複合的な施設として活用する。

「豪商のまち店舗改装費補助金」 をコロナ対応に!

問 30万円の最低工事額を下げる。その効果として、少額な工事にも対応できるようにしていただけないか。補助率を3分の1以上にすると、店舗の負担も軽減できる。

店の蓄え、体力が今少ない中で、前向きに店舗を運営していこうとしている方々を支援できるような豪商のまち店舗改装費補助金にしていけないか。

答 新型コロナウイルス感染拡大の第3波がまさしく今、来ているところであり、さらなる支援を我々も考えていかななくてはならない。提案いただいたことも含めて、さらに事業者に対して支援をしていく。



市民の憩いの鈴の森公園を 壊して造る収蔵庫は本当に必要か

問 長谷川家収蔵品で温湿度管理が必要な収蔵品は何点あるか。

答 8万点ほどが温湿度管理必要である。

問 長谷川家の蔵での温湿度管理データはあるか。

答 平成27年7月から28年8月までの1年間だけ測定した。

問 令和元年に長谷川家収納品整理のために関連部局の作業実績がないと情報公開の回答があるが、何もしていないと考えてよいのか。

答 情報公開の回答が正解である。

問 8万点もある収蔵品、熱に弱いというのに温湿度管理を何もしていないのでは。

答 長谷川家で管理されていた収蔵品は温度についてできていない。

意見 コロナ禍で困っている人がたくさんいるのに、公園を壊してまで4億円以上もかけて造る必要があるのか。

収蔵庫建設予定地ハザード マップは本当に信用できるのか

問 阪内川があり横に農業水路が走っている。ハザードマップで浸水が1m、新収蔵庫の床の高さが1.3m、本当に大丈夫か。

答 ハザードマップは千年に1回の大雨が降った時にこうなると考えて作った。

意見 令和2年7月、熊本県球磨川で起きた洪水でハザードマップを超えた場所が7カ所あった。この場所で良かったのか。

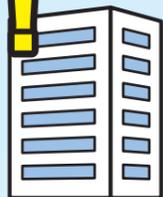


松阪市議会の議会改革

ICT化に向けての始動!



議会 ICT 整備事業費 11,709 千円
※令和2年度松阪市一般会計補正予算(第7号)



松阪市議会では、市議会における新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、議会運営の活性化および効率化を図るため、議員6人で構成する「議会 ICT 化推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、現在協議を行っています。

【導入目的】

- ペーパーレス化
会議の資料をデータ化し、ペーパーレス会議を実施
- 情報の伝達・共有
情報の共有を素早く円滑に実施
- 省資源化の推進
紙の資料削減



経過

- 令和2年 10.30 タブレット端末に関する協議
- 11.12 ペーパーレス会議
- 19 タブレット端末
- 25 デモ操作説明会
- 令和3年 令和3年1月末までに計7回のプロジェクト会議を開催し、導入するタブレット端末の仕様書や、運用などの協議も進めています。



▲第1回議会 ICT 化推進プロジェクト会議の様子

※ ICTとは「Information and Communication Technology」の略で、通信技術を使って人と人がつながる技術のこと



【今後は…】

会議資料の電子化をはじめ、広報広聴活動やオンライン会議の活用に向けて進めていきます。



詳しくは市ホームページ『議会ICT化推進プロジェクト』で



政策討論会

WEBで実施!

総務企画委員会分科会

●第7回 令和2年12月24日

少子超高齢化に伴う人口減少にどう対応するか。早くから先進的な取り組みを進めている和歌山県田辺市にWEB会議をお願いし、移住定住推進係長の平谷伸弘さんからご教授いただきました。



田辺市 HP より

田辺市は面積約1,026km²(松阪市は約623km²)と近畿地方で最も広い市域に人口約7万2,500人という、松阪市と比較してもいわば「大きな田舎暮らしのできるまち」。それでいて、特急電車で大阪から約2時間、飛行機で東京から約1時間という立地を活用し、積極的な移住促進を進めています。ここ3年間の移住者は77世帯130人。松阪市の実績が37世帯61人ですので、2倍以上の成果を上げています。

空き家活用や移住支援補助金、地域おこし協力隊など、実際の取り組み自体は松阪市でも類似した政策を展開しているため、一体どこに差があるのか、組織体系や事業展開の組み合わせ、ターゲットやプロモーションなど、多岐にわたって質疑や意見交換を行いました。



田辺市 HP より

田辺市の移住者は20代~40代の若い人々が8割近くを占め、ゲストハウスという宿泊施設を起業したり、製炭士という伝統産業の担い手を目指していたり、新たな人生を田辺市でチャレンジする人が多いそうです。

また、ICTの普及でテレワーク(インターネットを活用した在宅勤務等)が可能となり、首都圏から移住される人も少なくないとのことで、当分科会が検討してきた「松阪市が目指すべき移住定住推進のあり方」の方向性と通じるものと再認識しました。



オンラインによる行政視察

調査報告



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも現地への行政視察調査を、中止する代わりに、新たな取り組みとして、ICT環境が整った自治体とオンラインによる行政視察を実施しました。

なお、総務企画委員会はオンラインにて政策討論会を行いました(本紙P17参照)。文教経済委員会は現在協議中です。

議会運営委員会

議会改革・活性化の取り組み

兵庫県西脇市(1月15日)

日常開催する議会報告会(議会と語ろう会)、課題懇談会等、議会として直接市民と接し、出された要望事項を、議員間討議を経て市長へ提案している。市長はその提案を尊重し、執行するスタイルは説得力がある。毎定例会終了翌々日に議会運営委員会を開催し、前日までの定例会の反省を行っている。反省会で出た問題点の改善は進化であり、即実行できれば議会機能の強化につながる。定例会での一般質問の成果を所轄委員会にて追跡調査し、政策実現に結びつけているところも驚きであり参考としたい。



建設水道委員会

空き家と中心市街地居住促進事業

山形県鶴岡市(1月20日)

鶴岡市の中心地域は昔ながらの城下町で道路が狭く、行き止まりが多いため、その中心地域周辺に居住地が広がり、旧市街地においては人口減少および高齢化が進んでいる。

空洞化を埋める施策として街中居住推進の事業に取り組んでいる。また、特定非営利活動法人「NPOつるおかランド・バンク」を活用し、そのままでは売却が難しい土地をセットバックや道路の付け替えで車社会に適應する土地に生まれ変わらせ、売却している。空き家所有者、民間業者、土地を探している若者世帯すべてにメリットがあるまさしく三方よしの事業であると感じた。



環境福祉委員会

ダブルケア支援事業と地域包括ケアシステム

大阪府堺市(1月21日)

晩婚化、晩産化が進み、育児と介護を同時に行うダブルケアを行う人が、全国的に増加している。

堺市ではダブルケアの相談窓口を設け、各部局が連携し、さらなる支援を行っている。全国で初めて地域包括ケアシステム推進条例を制定。また、地域包括ケア支援課を設け、医療・介護の経験や知識を持つスペシャリストの集団が市民をサポートしている。いつまでも元気で自宅で過ごしたいという市民ニーズを実現する為、地域包括ケアシステム推進条例の制定が必要と強く感じた。



広報広聴委員会

オンライン議会報告会について

兵庫県丹波篠山市(1月26日)

丹波篠山市では、議会で決定した事項の報告や、議会活動に対する意見や市政に対する提言を伺うために、例年、各地区において議会報告会を実施しており、令和2年度は、11月に市内の19カ所で開催を予定していた。

新型コロナウイルス感染が拡大し、一旦収束の兆しが見えかけてきたものの、7月以降再び拡大。丹波篠山市議会としては、感染防止の観点から密を避けることを考慮し、会場に参集いただく形式の報告会に代え、オンラインによる動画配信の報告を実施した。この春から松阪市議会も実施予定のため参考になることが多かった。





※令和3年度は例年より早い開催日程となっております。

令和3年5月定例会の開催日程

会期
25日間

日	月	火	水	木	金	土
5月9日	10	11	12	13	14 議会運営委員会	15
16	17	18	19	20	21 本会議 (議案上程) (提案説明)	22
23	24	25	26	27 本会議 (議案質疑) (委員会付託)	28 本会議 (一般質問)	29
30	31	6月1日	2 本会議 (一般質問)	3	4 本会議 (一般質問)	5
6	7 委員会 (環境福祉) (文教経済)	8 委員会 (総務企画) (建設水道)	9	10	11	12
13	14 本会議 (議決)	15	16	17	18	19



きてんか! 議場見学!

みなさん議場に、ぜひお越しください!
現在議場改修中



11月、米ノ庄小学校の子どもたちが議場見学に来てくれました。



編集後記

令和3年、初めての発行となる「みてんか」第84号をお届けします。

松阪市は、新型コロナウイルスのワクチンを希望する16歳以上の市民の皆さんへの無料接種を開始できるよう準備を進めています。市民の皆さんのご協力とワクチン接種が功を奏し収束に向かうことを祈るばかりです。「みてんか」は第83号から見やすいユニバーサルフォントを採用しています。今号の最終ページにロゴマークを掲載させていただきました。

ウィズコロナの新しい日常の中、まだまだ議員・議会活動の在り方を模索する一年となると思います。本年も「みてんか」をどうぞよろしくお願いいたします。



広報広聴委員長 松岡 恒雄

広報広聴委員



今月号の表紙は松阪工業高校繊維デザイン科2年生小池海友さんの「ほかほか」。「春の風」をテーマに、人の髪の毛をフワッとさせたり、葉や花びら等が飛んでいく様子を描きました。



【左から】海住恒幸、中村誠、赤塚かおり、坂口秀夫(副委員長)、松岡恒雄(委員長)、西村友志、橘大介、殿村峰代、沖和哉
※写真撮影時、野呂一男議員は欠席



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。